

多職種協働評価スケール(AITCS-II-J)

AITCS : Assessment of Inter-professional Team Collaboration Scale 37質問

AITCS-II-J(23質問)英語版と日本語版の対応表

All rights reserved ©Hironobu Matsushita, 2019 不許複製・禁無断転載

この研究は日本学術振興会科研費基盤研究C(課題番号:19K10491)の助成を受けて行われています。

AITCSとは、英語圏で広範に用いられているヘルスケア関連の多職種連携協働の効果、機能などの程度を客観的・計量的に測定するスケールです。AITCSの改良バージョンであるAITCS-II日本語対訳をAITCS-II-Jと命名し以下に掲載します。AITCS-IIの開発経緯については、Orchard et al(2018) :[Assessment of Interprofessional Team Collaboration Scale \(AITCS\): Further Testing and Instrument Revision](#)を参照してください。

この日本語訳は松下博宣の著作物であり、使用、引用に際しては著作権者松下博宣の許諾承認を得たうえで本サイトを参照したことを明記する必要があります。

2019. 4. 12

翻訳：松下博宣

AITCS英語・日本語版

1. Establish agreements on goals for each patient we care for. 私の職場では患者個人のケア目標について合意がとられている。
2. Are committed to the goals set out by the team. チームが設定した目標に深く関与している。
3. Include patients in setting goals for their care. 患者目標を設定するときは患者を巻き込んでいる。
4. Listen to the wishes of their patients when determining the process of care chosen by the team. 私が所属するチームはケアプロセスを決めるときに患者の要望に耳を傾けている。
5. Meet and discuss patient care on a regular basis. 常時患者ケアについてミーティングを行い話し合いをしている。
6. Would agree that there is support from the organization for teamwork. 病院からチーム活動の支援はあると思う。
7. Coordinate health and social services (e.g. financial, occupation, housing, connections with community, spiritual) based upon patient care needs. 患者ニーズに基づいて、健康やソーシャルサービス(家計、仕事、住まい、地域とのつながり、スピリチュアル)に関わる調整をしている。
8. Use a variety of communication means (e.g. written messages, email, electronic patient records, phone, informal discussion, etc.) 多様なコミュニケーションの手段

(手紙、メール、電子カルテ、電話、インフォーマルな会話など)を使っている。

9. Use consistent communication with team members to discuss patient care. 患者ケアについて話し合うためにチームメンバーとは首尾一貫したコミュニケーションをしている。
10. Are involved in goal setting for each patient 患者個々のケア目標設定に関わっている。
11. Listen to and consider other members' voices and opinions/views in regard to deciding on individual care planning processes. 患者個々のケア計画プロセスを決定するときに、他のメンバーの声、意見、ものの見方に耳を傾け配慮している。
12. Would agree when care decisions are made, the leader strives to obtain consensus on planned processes from all parties. リーダーは、ケアに関して決定をする時に、ケア計画プロセスに関与するすべての職種に対して合意形成するように努力している。
13. Feel a sense of belonging to the group. チームの一員だという感覚を持っている。
14. Establish deadlines for steps and outcome markers in regards to patient care. 患者ケアについてプロセス期限とアウトカム指標を確立している。
15. Jointly agree to communicate plans for patient care. 治療計画、ケアプラン等を患者に伝える際には全員で合意をとっている。
16. Consider alternative approaches to achieve shared goals. 共有された目標を達成するために、いくつかの代替的なアプローチを考えている。
17. Encourage each other and patients and their families to use the knowledge and skills that each of us can bring in developing plans of care. 治療計画、ケアプラン等を立てるときは、多職種の知識やスキルを活用するために、多職種のメンバー、患者、家族に働きかけている。
18. Focus of our teamwork is consistently the patient. 自分たちのチーム活動は一貫して患者中心だ。
19. Work with the patient and his/her relatives in adjusting care plans. 治療計画、ケアプラン等を調整するときには、患者や家族と一緒にやって行う。

Cooperation Subscale (協力サブスケール)

20. Share power with each other. チーム内では皆が力を出し合って協力している。
21. Help and support each other. お互いが助け合い、支え合っている。
22. Respect and trust each other. お互いが尊敬しあい信頼している。
23. Are open and honest with each other. 皆オープンで親切だ。
24. Make changes to their team functioning based on reflective reviews. 振り返りと改善によってチームの機能に変化を加えている。
25. Strive to achieve mutually satisfying resolution for differences of opinions. 異なる意見が出るときは、お互いが満足のゆく解決ができるよう努力している。
26. Understand the boundaries of what each other can do. お互いができることとできないことを理解している。
27. Understand that there are shared knowledge and skills between health providers on

the team. チーム内で知識とスキルが共有されていることを理解している。

28. Exhibit a high priority for gaining insight from patients about their wishes/desires. 患者の願いや望みを深く知ることが優先されている。

29. Create a cooperative atmosphere among the members when addressing patient situations, interventions and goals. 患者の状況、介入、目標に取り組むときは、協力的な雰囲気が醸し出されている。

30. Establish a sense of trust among the team members. チームメンバーの間には信頼感ができあがっている。

Coordination Subscale (調整サブスケール)

31. Apply a unique definition of interprofessional collaborative practice to the practice setting. 職場には多職種協力(チーム医療)について独自の取り決めがある。

32. Equally divide agreed upon goal amongst the team. チーム内では、メンバーによって合意された目標が公平に分担されている。

33. Encourage and support open communication, including the patients and their relatives during team meetings. チームミーティングでは、患者・家族を含めてオープンにコミュニケーションをとることが奨励され支持されている。

34. Use an agreed upon process to resolve conflicts. 対立や衝突を解決するためにあらかじめ決められた手順を活用している。

35. Support the leader for the team varying depending on the needs of our patients. 変化する患者のニーズに応じてメンバーはチームリーダーをサポートしている。

36. Together select the leader for our team. 皆が一緒になってチームリーダーを選んでいる。

37. Openly support inclusion of the patient in our team meetings. チームミーティングに患者を含めることをオープンにサポートしている。

日本語版多職種連携協働評価スケール(AITCS-II-J)

1. Include patients in setting goals for their care. 患者目標を設定するときは患者を巻き込んでいる。
2. Listen to the wishes of their patients when determining the process of care chosen by the team. 私が所属するチームはケアプロセスを決めるときに患者の要望に耳を傾けている。
3. Meet and discuss patient care on a regular basis. 常時患者ケアについてミーティングを行い話し合いをしている。
4. Coordinate health and social services (e.g. financial, occupation, housing, connections with community, spiritual) based upon patient care needs. 患者ニーズに基づいて、健康やソーシャルサービス(家計、仕事、住まい、地域とのつながり、スピリチュアル)に関わる調整をしている。

5. Use consistent communication with team members to discuss patient care. 患者ケアについて話し合うためにチームメンバーとは首尾一貫したコミュニケーションをしている。
6. Are involved in goal setting for each patient. 患者個々のケア目標設定に関わっている。
7. Encourage each other and patients and their families to use the knowledge and skills that each of us can bring in developing plans of care. 治療計画、ケアプラン等を立てるときは、多職種の知識やスキルを活用するために、多職種のメンバー、患者、家族に働きかけている。
8. Work with the patient and his/her relatives in adjusting care plans. 治療計画、ケアプラン等を調整するときには、患者や家族と一緒にやって行く。

Cooperation Subscale (協力サブスケール)

9. Share power with each other. チーム内では皆が力を出し合って協力している。
10. Respect and trust each other. お互いが尊敬しあい信頼している。
11. Are open and honest with each other. 皆オープンで親切だ。
12. Make changes to their team functioning based on reflective reviews. 振り返りと改善によってチームの機能に変化を加えている。
13. Strive to achieve mutually satisfying resolution for differences of opinions. 異なる意見が出るときは、お互いが満足のゆく解決ができるよう努力している。
14. Understand the boundaries of what each other can do. お互いができることとできないことを理解している。
15. Understand that there are shared knowledge and skills between health providers on the team. チーム内で知識とスキルが共有されていることを理解している。
16. Establish a sense of trust among the team members. チームメンバーの間には信頼感ができあがっている。

Coordination Subscale (調整サブスケール)

17. Apply a unique definition of interprofessional collaborative practice to the practice setting. 職場には多職種連携協働（チーム医療）について独自の取り決めがある。
18. Equally divide agreed upon goal amongst the team. チーム内では、メンバーによって合意された目標が公平に分担されている。
19. Encourage and support open communication, including the patients and their relatives during team meetings. チームミーティングでは、患者・家族を含めてオープンにコミュニケーションをとることが奨励され支持されている。
20. Use an agreed upon process to resolve conflicts. 対立や衝突を解決するためにあらかじめ決められた手順を活用している。
21. Support the leader for the team varying depending on the needs of our patients. 変化する患者のニーズに応じてメンバーはチームリーダーをサポートしている。

22. Together select the leader for our team. 皆が一緒になってチームリーダーを選んでいる。

23. Openly support inclusion of the patient in our team meetings. チームミーティングに患者を含めることをオープンにサポートしている。

(以上)